

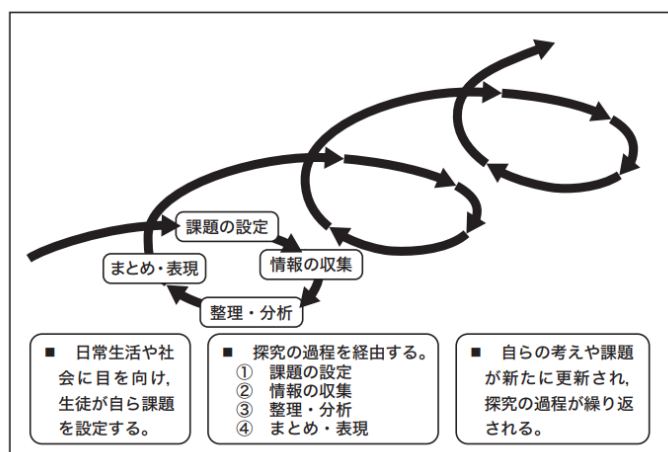
総合的な探究の時間「OH my project」実施要領

1 目的

グランドデザインに設定されている「身に付けさせたい資質・能力」の「7つのできる」を高める。

2 探究とは何か？

(1) 探究における生徒の学習の姿



産業界が大学等卒業時に学生が身に付けていることを特に期待する素質、能力、知識について聞いたところ（中略）、**「主体性」と「実行力」**が高いポイントとなっている。今回の調査で注目すべきは、（中略）**「課題設定・解決能力」**がより高い順位となり、さらに理系では**「創造力」**も高い順位となったことである。（中略）指示待ちではなく、自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力が求められていることが示された。

（一般社団法人日本経済団体連合会

2018「高等教育に関するアンケート結果」より引用）

(2) 従来型の授業と探究の対比

従来型の授業	探究
・教師が生徒に持たせた問いを起点に、	・生徒の気づきや素朴な疑問を起点に、
・教師が生徒に教えたり、調べさせたりして、	・生徒が「知りたい！」と自ら情報を収集して
・教師が生徒に考えさせ、	・生徒が自ら整理・分析し、
・正解に誘導する。	・意味を感じとる。
・教師のエネルギーで、	・生徒のエネルギー・欲求（ワクワク感）で、
・教師が与える。	・生徒が自ら掴み取る。
・教師に依存（教師が必要）	・教師から自立&自走
・授業時間だけ&教室だけ	・いつでも&どこでも

(3) 「総合的な学習の時間」と「総合的な探究の時間」の目標の違い

第1の目標	
総合的な学習の時間（平成29年告示）	総合的な探究の時間（平成30年告示）
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、 <u>よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく</u> ための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（後略）	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、 <u>よりよく課題を解決し、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく</u> ための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（後略）

(4) 課題と生徒との関係

総合的な学習の時間	総合的な探究の時間
課題（一律的な課題） よりよく解決をする ↓ 自己の生き方を考えていく 課題を設定し、解決しようとする。自己の生き方を考える。	課題（個に応じた課題） 自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく 個別最適な学び 自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していく。
課題を解決する⇒自己の生き方を考える	課題を解決する⇔自己の在り方生き方を考える

→総合的な探究の時間は生徒自身が興味・関心があることと課題発見を結び付けて学んでいく。

出典：文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」平成30年7月

3 OH my project とは

生徒自身の在り方生き方に深く関わる正解のない探究課題を見つけ、情報収集・整理を行い、協働しながら活動し、まとめや振り返りを行い、学びを表現する。

この「活動」を調査や提案だけで終わらせず、実社会と関わりながらアクションを起こし、学びにつなげる。また、その結果起きた周囲の変化のみならず、自分自身の変化についても内省し次の探究や在り方生き方の探究につなげる学習である。

※従前の「まちづくりプロジェクト」と今後の「OH my project」の違い

まちづくりプロジェクト	OH my project
地域課題解決につながるような課題設定	自分が興味のあることを中心とした課題設定
フィールドは長万部町	フィールドは多様
形式は「ゼミ（グループ）」	形式は「個人」 または同じ興味を持っている「グループ」
自分の言葉で伝える力を高めるため まちのため	自分の資質・能力を高めるため ※誰かのため（まちのため、人に感謝されるため等）が前提ではない。これが先に来ると、ワクワク感や自走性が低くなる。
教員は「 ファシリテーター 」 ※教員が答えを教える場ではない（そもそも教員もわからない可能性が十分ある）。 ※生徒が唯一の正解がない課題に対して、最適解や納得解を見いだすことを重視する。 ※ファシリテーターとしての役割を知る必要がある。	

4 分担

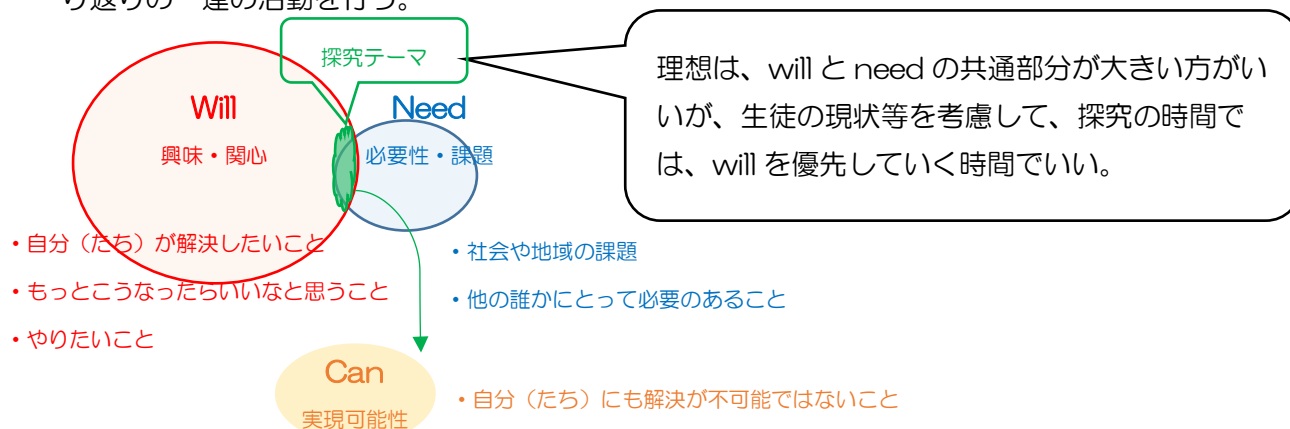
	業務内容	担当者
実施要領作成	①目的設定 ②分担調整 ③OH my project の在り方検討	探究プロジェクトチーム 教務部
時間割調整	総合的な探究の時間等の時間調整	教務部時間割担当
展開要領の管理	大まかな展開要領の管理を行う	探究プロジェクトチーム 教務部
OH my project の実施	①役割分担 ④必要資料の印刷 ②展開要領の編集 ⑤実施 ③打合せ	各学年、吉田
マイプロジェクトアワードの案内・情報受取・共有	①会員登録 ②探究に関する情報共有 ③マイプロジェクトアワードの案内	吉田、各学年

展開要領等を作成し実施日の前週に学年で打ち合わせを行う。OH my project の進行、補助を行う。評価反省、記録（できるだけ写真を撮る）を行う。

5 2年間の流れ

(1) 1年生

- ①自分の「好きなこと」「やりたいこと」を中心に多様なフィールドで課題設定・計画・アクション・振り返りの一連の活動を行う。



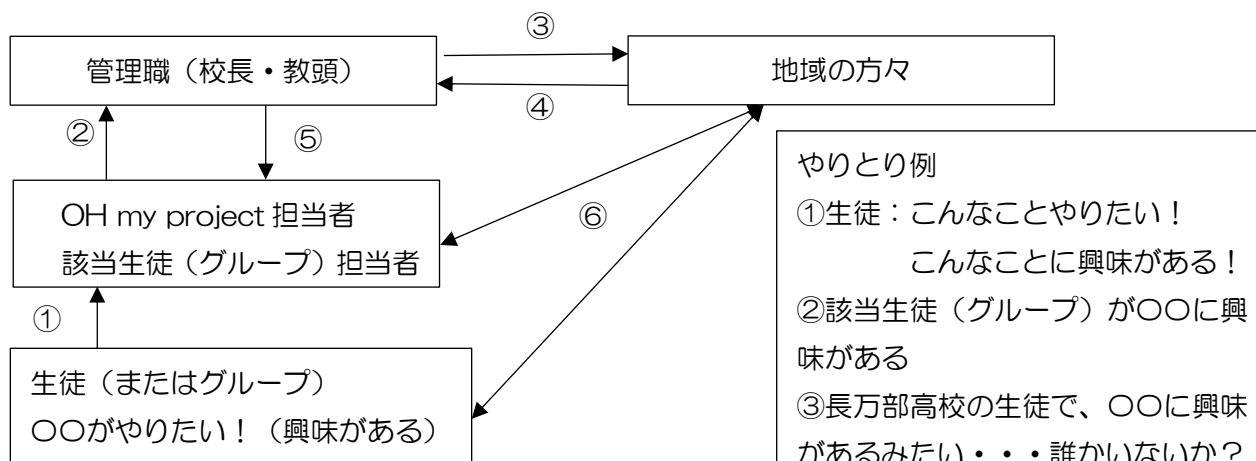
- ②小中高合同発表会にてポスター発表を行う。1年生のOH my project で学んだことを発表する。
③マイプロジェクトアワードに応募（書類選考）。さらに選考会を実施し、招待グループを1つ選出する。

(2) 2年生

- ①1年生の経験をもとに、さらに深める。または、視野を広げるために他の自分が興味のあることを中心に学校外をフィールドで課題設定、計画、アクション、振り返りの一連の活動を行う
②小中高合同発表会にてポスター発表を行う。1、2年生のOH my project で学んだことを発表する。
③マイプロジェクトアワードに応募（書類選考）。さらに選考会を実施し、招待グループを1つ選出する。

6 地域との連携図

1、2年生がOH my projectの課題設定や計画書作成を行っているときに、実際にアクションを起こすうえで必要となる可能性があるのが、地域の方々とのつながりである。以下のような形で進めたい。



注意

- 1 理想は、教員や生徒が自分たちで地域とつながること。ただ、地域との連携の基礎をつくるために、最初は管理職に連携の軸を担っていただく。
- 2 もし、直接地域の方々との連携がとれる場合は、管理職への現状報告をこまめに行う。

やりとり例

- ①生徒：こんなことやりたい！
こんなことに興味がある！
- ②該当生徒（グループ）が〇〇に興味がある
- ③長万部高校の生徒で、〇〇に興味があるみたい・・・誰かいないか？
- ④〇〇に興味があるなら、△△さんがいますよ
- ⑤△△さんとながってみるといいよ。
- ⑥生徒がやりたいことの明確化・共有、思いを伝える→ぜひ、やろう！

7 小中高「ふるさと学」合同発表会について

- (1) 小学6年生（長万部小学校、静狩小学校）、中学2年生（長万部中学校）、長万部高校全校生徒が参加する。
- (2) 基本的にはポスターセッションの形をとる。
- (3) 長万部高校は1、2年生がOH my projectでの成果発表をする。
- (4) この発表会は、小中学生や地域の方々へ自分たちが学んだことを発信する場。質疑応答などを通して考えを深めたり、地域の方々とながったりすることができる。

8 マイプロジェクトアワードとは？

＜HPより＞マイプロジェクトとは、身の回りの課題や関心をテーマにプロジェクトを立ち上げ、実行することを通して学ぶ、実践型探究学習プログラムです。大切にしているのは、小さくても実際に起こす「アクション」と、プロジェクトに対する「主体性」です。不確かな時代だからこそ、高校時代に正解のない問題に向き合い探究することで、未来への想像力が育まれます。未来の学びを日本全国の高校生に届けるというコンセプトのもと、マイプロジェクトを広げる活動を行っています。（認定NPO法人カタリバ）

詳細は、HP等で確認してください（QRコードからアクセス可能）



9 マイプロジェクトアワード（地域大会）への参加

昨年度までは小中高合同発表会にて審査を兼ね、1グループのみ提出していた。今年度は、校内発表において審査を行い、1グループ選出する。また、基本的には全員（全グループ）マイプロジェクトアワードへ書類提出を行う。

※小中高合同発表会において審査を行わない理由は、ポスターセッションという形式をとるから。同時に発表が行われるため、審査を公平にすることができない。

書類選考に関わる質問項目（令和2年度の場合）

- (1) プロジェクト名 (2) プロジェクトの目的（200文字以内）
- (3) プロジェクトの実施内容（400字以内）
- (4) プロジェクト立ち上げをした理由、もしくはプロジェクトに参画した理由（200字以内）
- (5) プロジェクトの中で、最もモチベーションや気持ちが変化した瞬間を、理由合わせて記入
(200字以内)
- (6) プロジェクトの中で、どんな人とどんな関わりをしてきたか（200字以内）
- (7) プロジェクト活動を通して、上記の人の反応はどう変化したか（200字以内）
- (8) プロジェクト活動を通して、今持っている「問い」を記入（200字以内）
- (9) プロジェクト活動を通して学んだこと（400字以内）

この問いを発表準備までにまとめ、発表の基礎とすることができる。また、その後、マイプロジェクトアワードにもスムーズに提出することができる。

9 本校におけるマイプロジェクトアワードに参加する理由

- (1) 「地域大会等に出場する」ということをモチベーションに、探究に取り組むことができるから。
- (2) 他校の生徒との交流により、自分たちの取組を客観的に見て、振り返ることができるから。
- (3) 他校の生徒との交流により、生徒自身のよさや課題を見つけ出すことができるから。
- (4) 教員も他校の教員とつながることができ、本校のカリキュラムや取組を考え直すことができるから。

10 情報共有の徹底

生徒が外に出る機会が多く、生徒や教員の動向の情報共有が必要となります。管理職にも常に伝わるように、「情報共有ファイル」に状況を記入し、全員が見られるようにしていきます。

ファイル ※作成中。でき次第アナウンスします。

11 生徒引率について

状況によっては、生徒の引率のために自家用車を使用する場合があるかもしれません。「同乗依頼書」の提出が必要となります。

提出の流れ 「引率教諭→生徒→保護者→生徒→引率教諭→教頭→校長」

12 授業中の活動について

状況によっては、やむを得ず探究の時間以外の授業時間で生徒が学校外に出ることがあります。その場合は、公欠扱いとして、日報に必ず情報共有をお願いします。（いつ、誰が、どこに、引率があるかないか）

また、必ず事前（日程が決まり次第）に管理職にも動きを伝え、情報共有の徹底を行う。

13 展開要領等（年間の予定も含む）のファイルの場所

サーバー→04 分掌→教務部→R03→02 教務→01 総合的な探究の時間→OH my project